授業改善推進プラン＜学年別＞

３年	課題分析	授業改善策
国語	【論理的思考の問題点】 〇論理的に考える力や予想される反論を踏まえて自分の意見や考えを述べる力が不十分で、他者との交流を通して自分の意見や考えを再構築することが苦手である。 【情報の選択の問題点】 〇情報を適切に取捨選択することが苦手である。	【論理的思考の育成】 〇文章や相手の話から考えたこと、理解したことについて発表したり、話し合ったりする活動や、文脈における語句の意味を正確に捉える学習を計画的に取り入れる。また、他者との交流を通して、自分の意見や考えがどのように変化したのかということを発表する機会を授業内で設ける。 【情報の選択の育成】 〇様々な資料から必要な情報を読み取る活動を計画的に行う。
社会	【社会に見られる課題を把握し、解決に向けて構想する力】 〇社会で起きている出来事に関する興味や関心を高め、世界的な活動やグローバルな視点で物事を捉える力を育む必要がある。	【社会に見られる課題を把握し、解決に向けて構想する力の育成】 〇国際的なニュースや時事的な内容を題材として、課題について考察した内容を発表し、まとめる活動を設定する。
数学	【知識・技能の定着】 〇「数と式」、「関数」の分野の学習事項の定着に課題が見られる。特に、単純なミスや知識不足による誤答が目立つ。	【基礎的な内容の定着の育成】 〇授業の冒頭に、話合い活動による前時の内容を振り返る時間を設定する。 〇節ごとに、今までの学習を振り返る時間を設定し、レポートにまとめさせる。（既習事項のみならず、学習した事柄でもっと知りたいことや興味をもったことなどをまとめる。）
理科	【知識・技能の問題点】 〇「知識・技能」に関して、表面的な理解にとどまり、概念の理解や学習事項を活用する力が不十分である。 【思考・判断・表現の問題点】 〇学習した内容や実験結果を考察した内容について、文章でまとめ、伝える力が不十分である。	【ICT機器の活用】 〇eライブラリ等を活用し、様々な形式での問題演習を行う。 【書き方のモデル提示と話合い活動の時間設定】 〇理科における実験結果や考察の書き方について改めて講習を行うとともに、良い書き方のモデルを随時紹介したり、実験後にグループでの話合い活動の時間を設定したりする。
英語	【まとまりのある英文を書く】 〇テーマに合った、まとまりのある文を書く力を向上させる。 【英文を読んで、概要をつかむ】 〇長文を読んで、おおまかな内容が理解できるようにする。	【まとまりのある英文を書き、交流する機会の設定】 〇さまざまなテーマで、まとまった英文を書く時間を設定する。また互いの文を読み合い、よいところを取り入れるようにする。 【多くの英文を読む時間の設定】 〇たくさんの長文を読むことを通して、読解力を養う。
美術	【思考力・判断力・表現力の問題点】 〇自分のアイデアを上手に表現することが困難で、作品の制作に苦手意識をもつ生徒が見られる。	【思考力・判断力・表現力の強化】 〇タブレットや資料集、見本、その他参考資料を用い、アイデアの幅が広がるよう工夫をする。また、表現方法をいくつかアドバイスすることで自分の得意な表現方法を見いだし、楽しんで制作できるよう導く。
音楽	【知識・技能の問題点】 〇音楽用語などの楽譜を読むために必要な知識について理解はしているが表現につなげることができない生徒が見られる。 【思考力・判断力・表現力の問題点】 〇合唱では意欲的に練習に取り組むことができるが、楽譜を読み、表現を工夫することが苦手である。	【ワークシートの活用】 〇簡単な問題を繰り返し行うことで知識の定着を図り、表現と結び付けられるように繰り返し練習をする。 【話し合い活動】 〇グループで曲の分析を行い、発表する機会を設けるなど、楽譜を見て考える時間を設ける。
保健体育	【思考力・判断力・表現力の問題点】 〇運動に関する用語やルール等の知識については理解しているが、その知識を用いて合理的な解決に向けて運動方法を工夫することに課題がある。	【思考力・判断力・表現力の育成】 〇グループでお互いの動きを確認したり、タブレットで自らの動きを確認する機会を設ける。 〇生徒が運動方法を選択できるように、場の設定を工夫する。
技術	【情報の技術】 〇実社会におけるものづくりや、技術と情報との関わりについて興味・関心をもたせることが課題である。	【情報の技術】 〇ICT機器等での資料・映像を活用し、ものづくりや情報について学習させる。また、生活に身近な題材を取り上げ、ICT機器等を利用して自ら学ぼうとする態度を養う。 〇Web上のコンテンツなどを利用し、家庭での補充学習に役立てる。また、現在の技術の課題や問題点などについて考えを深めさせる機会をつくる。
家庭	【思考力・判断力・表現力の問題点】 〇幼児に対する興味・関心の有無に個人差がある。 〇実技ではなかなか新しい個性的なアイデアを出すのが難しく、似たり寄ったりの作品になりやすい。	【思考力・表現力・技能の定着】 〇生徒が幼児に興味・関心をもつように、自分の幼い頃を思い出し、幼児を身近に感じられるようなまとめができるワークシートを作成する。 〇実技ではいろいろな表現方法や技能があることを調べる学習をとおして、アイデアを自分のアレンジに生かすよう導く。